

# COMPREHENSIVE STOOL ANALYSIS

## 消化器系総合検査・検体作成手順

### <検査を始める前に>

この検体作成手順をよく読み、採取手順をよく理解してください。

抗菌治療・抗生物質治療を行っている場合、治療が終わり3日経たないと検体作成は始められません。医師の指示がない限り、消化酵素、制酸薬、アスピリンの服用を検体作成の2日前より中止します。脂肪の吸収をきちんと評価する為に、検体採取の3日前より毎日60～100gの脂肪を摂取してください。

医師への相談なしに処方薬の服用の中止はなさないで下さい。

### <キットの中身の確認>

- ◆ 申込書(Requisition form) ..... 1枚
- ◆ 冷凍ジェルパック ..... 1個
- ◆ 便採取用の紙受け皿 ..... 1個
- ◆ 黄色のふたのチューブ(赤色の液体(防腐剤)入り) ..... 1本
- ◆ 白色のふたのチューブ ..... 1本
- ◆ 使い捨てグローブ ..... 1組
- ◆ ジップロックのビニール袋と吸収性のパッド ..... 1枚

➡ キットに不足品があった場合、下記までご連絡ください。

デトックス tel:03-5876-4511

キットの外箱は郵送の際に使用しますので、破棄しないようお願いします。

### <注意>

チューブに入った液体が皮膚や目に接触しないよう注意してください。目に入ってしまった場合、水で15分間洗い流します。皮膚に接触した場合、水と石鹸でよく洗います。いかなるアクシデントにおいて、早急に医師の診察を受けてください。

# COMPREHENSIVE STOOL ANALYSIS

## 消化器系総合検査・検体作成手順

### <検体の作成方法>

1. 採取用受け皿に便を採取します。受け皿に尿や水などが混入しないようにご注意ください。
2. 白色ふたのチューブのふたを開け、ふたについたスプーンを使い便の検体をチューブに移し入れてください。便の検体の様々な場所から移しいれます。チューブに書かれた『fill line』まで検体を移しいれますが、入れすぎには注意してください。採取が終わりましたら、ふたを固く閉めます(移し入れる際、チューブの奥から詰めるようにしてください)。
3. 黄色のふたのチューブのふたを開け、ふたについたスプーンを使い便の検体をチューブに移し入れてください。便の検体の様々な場所から移しいれます。チューブに書かれた『fill line』まで検体を移しいれますが、入れすぎには注意してください。採取が終わりましたら、ふたを固く閉めます(移し入れる際、チューブの奥から詰めるようにしてください)。
4. 黄色のふたのチューブを、便検体と防腐剤がよく混ざるように、30 秒間しっかりと振ります。
5. 白色のふたのチューブと黄色のふたのチューブに名前と検体採取日をローマ字で記入してください(ID#の欄には何も記入しません)。
6. 白色ふたのチューブと冷凍ジェルパックをジップロックのビニール袋に入れ、冷凍庫で1晩凍らせます。黄色のふたのチューブはジップロックのビニール袋に入れ、キットの外箱に入れます。キットの外箱は郵送できる状態まで冷蔵庫で保存します。
7. 発送の時点で冷凍された白色のふたのチューブが入ったジップロックのビニール袋をキットの外箱に入れてください。
8. 申込書に必要事項(Patient Information 欄に名前・生年月日・性別・住所・電話番号)をローマ字で記入します。記入が終わりましたら、申込書をキットの外箱に入れてください。

これで検体発送の準備が整いました。

別紙の FedEx 検体発送方法にしたがって発送してください。